

講習の名称	政治や政策が抱える問題点とその見方	講習番号	C-5
開催日	平成28年8月10日(水)	定員	80名
主な受講対象者	小学校教諭、中学校社会教諭、高等学校公民教諭		
担当講師	羽田 亨(経済学部教授)、並河 仁(経済学部教授)		
講習の概要	近年、選挙や社会保障といった現代社会を支える制度のあり方について、多くの問題点や限界が指摘され、重要な課題となっている。その中で私たちは、どのような考えに基づいて、どのような仕組みを作り上げていけばよいのか、政治や政策のあり方について難しい判断を迫られている。本講義では、そういった私たちが直面する政治や政策の諸問題を取り上げて論点整理を行い、様々な視点をふまえた指導や生徒が主体的に考える教育の一助とする。		
講習計画	09:00～10:00 (60分)	一票の格差 問題の解消を製薬している要因を検討し、アダムス式導入の背景や「平等」と「代表」の意義を考えます。後半でグループ討議を行います。	
	10:00～10:10	休憩	
	10:10～11:10 (60分)	多数決と熟議 民主主義の基本である「多数決」と新たなあり方として期待される「熟議」、その意義と限界を考えます。後半でグループ討議を行います。	
	11:10～11:20	休憩	
	11:20～12:20 (60分)	マスメディアの影響 マスメディアや世論の影響についての基本的な理論を紹介し、メディアリテラシーについて検討するとともに、教室内のメディアたる教員の言動についてグループ討議を行います。	
	12:20～13:00	昼食休憩	
	13:00～14:10 (70分)	財政の現状について 財政状況の悪化の要因を検討し、改善の方向性について考えます。	
	14:10～14:20	休憩	
	14:20～15:30 (70分)	社会保障財源と消費税 社会保障財源としての消費税のあり方について考えます。 (後半でグループ討議を行います)	
	15:30～15:40	休憩	
	15:40～16:20 (40分)	試験 筆記試験を行います。	
	16:20～16:30	事後評価アンケート	
成績評価の観点	1. 政治課題を一面的に捉えず様々な視点から考えることができるか。 2. 1.をふまえた教育上の配慮や工夫を行うことができるか。		
備考			